

アツくておもしろい、若手農家が糸島で活躍中です！

糸島の農業を元気に

若手ファーマーズの

古重カ

NO.97

苗の定植用の機械です。こちらも新古車で購入することができました。



市の補助事業を活用して、新古車で購入した21馬力のトラクターです。将来は、作業効率をさらに上げるため、暑さ、寒さやホコリを防げるキャビン付きが欲しいと話されました。



糸島市井原

たなか ひでとも

田中 秀朋さん (21)

今月は就農して3年目、青年部に入部して1年目の田中秀朋さんを紹介しします。

■農業経営の内容を教えてください

糸島市井原で主としてブロッコリーを3畝生産しています。

10月中旬から10品種をリレーし、6月いっぱい収穫を行います。

その他には、エダマメ15畝、トウモロコシ25畝を直売所用に栽培しており、私と母の2人で管理作業などを行っています。

■就農のきっかけは？

農業をしようと思ったのは高校3年生の頃です。もともと小規模な兼業農家で、曾祖母が20畝ほど家で食べる分を作っていました。その手伝いをする内に興味が湧いたのがきっかけです。

普通高校を卒業した後、市やJAに就農相談をしたところ、ブロッコリー農家を紹介してもらい、そこで1年間の研修を受けました。

■就農して大変だったことは？

まず研修を受けた時に感じたのは「農業はこんなに忙しいのか」ということでした。

ブロッコリーでは、健康な苗を作るため水、温度管理など必要な作業が多く、また、

農作物の管理だけでなく、畦の草刈りなど周辺環境の整備も必要で奥深さを感じました。

新規に農業を始めるようなものでしたから、農地の確保や農機を揃えるのも大変でした。

農地は曾祖母の知り合いから借りる事ができ、農業資金は県や市の補助事業を活用しています。

■心掛けていることは？

「感謝」です。

忙しい時は周りの農家の方々に手伝って頂きましたし、車も貸して頂きました。その方々の協力で軌道に乗せる事ができたと感じています。そういった方々や天地の恵みへの「感謝」を忘れないようにしています。

■将来の抱負は？

低コスト、高品質をモットーに、防除や施肥、収穫などの適期作業を徹底しながら、技術を向上させて、反収や秀品率を上げて行きたいです。

将来は5畝くらいに規模を拡大して、経営の安定を図っていきたくと考えています。